

【西区】令和2年第3回区づくり推進横浜市議員会議

令和2年9月4日(金) 16時開始
西区役所4階4A会議室

次 第

1 開 会

2 座長の選出

3 議 題

- (1) 令和元年度 個性ある区づくり推進費決算状況について
- (2) 令和2年度 個性ある区づくり推進費に係る事業見直しについて
- (3) 令和2年度 西区主要事業の進捗状況について
 - ア 「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」の推進
 - イ 高齢者あんしん生活サポート事業
 - ウ 障害のある人も住みやすいまちづくり事業
 - エ 健康づくり応援事業
 - オ 家計のやりくり応援事業
 - カ 子育て支援の推進
 - キ 地域資源を活用したまちの回遊性向上事業
 - ク 商店街及び「まち」のにぎわい創出事業
 - ケ スポーツ振興等事業
 - コ 西区の緑化と地域のつながり形成推進事業
 - サ 西区環境行動推進事業
 - シ 西区ヨコハマ3R夢推進事業
 - ス 交通安全事業
 - セ 安心して暮らせるまちづくり推進事業
 - ソ 地域防災活動推進事業
- (4) 令和3年度 西区予算編成の基本的な考え方(案)について
- (5) 西区における開発動向等について
- (6) 西区役所における新型コロナウイルス感染症への対応

4 会議報告書の作成

5 閉 会

3-(1) 令和元年度 個性ある区づくり推進費決算状況

1 事業区分別実績

(単位:円)

区分	予算額	決算額	差引	執行率
自主企画事業費	99,781,000	94,908,013	4,872,987	95.1%
統合事務事業費	35,124,000	35,270,573	▲146,573	100.4%
区庁舎・区民利用施設管理費	444,548,000	444,640,671	▲92,671	100.0%
合計	579,453,000	574,819,257	4,633,743	99.2%

2 重点事業（自主企画事業費）

1 地域のつながりづくり 7,373,397円

主な事業	事業内容	事業実績
「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」(西区地域福祉保健計画)の推進	「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」(西区地域福祉保健計画)の普及啓発、地域の取組を支援	<ul style="list-style-type: none"> 「にこまち講座」の開催 (9月・12月、参加者計290名) 「にこまちフォーラム」の開催 (2月、参加者327名) 子ども向け「出前啓発」の実施 (小学校3か所・学童3か所、計277名)
西区ふれあい福祉推進事業	ひとり暮らし高齢者等の見守り・訪問などを行う町内会単位の「ふれあい会」の活動を支援	<ul style="list-style-type: none"> 「ふれあい会」の活動支援、助成金交付 「ふれあい会」 団体数：53団体、担い手数：541人、助成金対象世帯数：1,176世帯

2 いきいきと健やかに暮らせるまちづくり 19,148,332円

主な事業	事業内容	事業実績
高齢者あんしん生活サポート事業	認知症サポーター養成講座等開催、ころぼんよ体操及び介護予防情報紙作成による介護予防普及啓発、在宅療養ガイド作成	<ul style="list-style-type: none"> 区民参加型による介護普及啓発 膝痛予防講演会 (5月29日、定員100人) 膝痛予防体操講座 (7月25日及び9月10日、定員各100人)
家計のやりくり応援事業	家計のやりくりについてのワークブックの発行、ワークブックを活用した家計改善支援の実施	<ul style="list-style-type: none"> 家計のやりくりについてのワークブックの発行 (400部) ワークブックを活用した家計改善支援の実施

3 まちの回遊性向上とにぎわいづくり 23,345,590円

主な事業	事業内容	事業実績
地域資源を活用したまちの回遊性向上事業	フォトコンテスト作品等を活用した魅力発信、公共施設案内サインの多言語化等改修	<ul style="list-style-type: none"> フォトコンテスト作品活用 (パネル展示8か所、横浜駅西口駅前広場工事仮囲い装飾等) 魅力発信ツール紹介リーフレット「YOKOHAMA NISHIKU GUIDE」発行 (8,500部) 公共施設案内サイン多言語化等改修 (16基)
商店街及び「まち」のにぎわい創出事業	商店街スタンプラリーの実施、アフリカフェスティバルの実施、ガイド情報誌(英語版)の発行	<ul style="list-style-type: none"> 商店街スタンプラリー実施 (参加総数：670人、回遊店舗数：2,680店) アフリカフェスティバル開催 (来場者数：約2,500人) ガイド情報誌(英語版)発行 (5,000部)

4 安全・安心なまちづくり 26,971,861円

主な事業	事業内容	事業実績
地域防災活動推進事業	地域防災拠点の機能強化、区本部の防災機能強化、自助・共助の推進	<ul style="list-style-type: none"> 地域防災拠点訓練の支援 (9月及び1～3月、12拠点、参加者：2,870人) 区本部機能強化のための備品購入 減災教育等による自助・共助の推進
安心して暮らせるまちづくり推進事業	地域、行政、関係団体と連携した防犯啓発活動、防犯メール等での情報提供など地域防犯力を強化	<ul style="list-style-type: none"> 特殊詐欺被害防止啓発チラシ作成及び自治会・町内会班回覧 (11月：2,526枚 (98町内会)) 広報よこはま西区版コラム記事掲載 (年3回) 詐欺撲滅キャンペーン (年2回) ※春・秋の全国交通安全運動西区キャンペーンと同時開催
交通安全事業	地域、学校、行政、関係団体と連携した交通安全啓発活動、スクールゾーン対策等の推進	<ul style="list-style-type: none"> 各季交通安全キャンペーン (春・秋・年末) 保護者向け交通安全教室 (小学校：10校、参加者：429人/中学校3校、参加者：120人) 親子交通安全教室の開催 (7月6日：交通局浅間町営業所 参加者：28組67人)

5 親しみやすい区役所づくり 18,068,833円

主な事業	事業内容	事業実績
サービス改善推進事業	職員への窓口対応向上研修の実施など人材育成を進め、正確でわかりやすい行政サービスを提供	<ul style="list-style-type: none"> 庁内講師や外部講師によるCS向上等を目指した応対マナーに関する研修等を実施 (計7回) CS、ES向上のための区役所の環境整備 (案内表示の改善、窓口へのロールスクリーンの設置) を実施
広報充実事業	ホームページやツイッターによる情報提供、マスコットキャラクター等を活用した魅力発信	<ul style="list-style-type: none"> ホームページ、ツイッターの運営 職員向けCMS研修の実施 (1回) マスコットキャラクターグッズ製作 (1,400部)

合計
(自主企画事業費決算額)

94,908,013円

令和元年度 個性ある区づくり推進費（自主企画事業費） 施策体系別決算額

1 地域のつながりづくり

(単位：円)

番号	事業名	予算額	決算額	差引
1	「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」 (西区地域福祉保健計画)の推進	3,390,000	2,608,628	781,372
2	西区ふれあい福祉推進事業	3,888,000	2,846,655	1,041,345 ※1
3	地域活動事業	2,869,000	1,918,114	950,886
小計		10,147,000	7,373,397	2,773,603

2 いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

(単位：円)

番号	事業名	予算額	決算額	差引
1	高齢者あんしん生活サポート事業	2,729,000	2,173,313	555,687
2	家計のやりくり応援事業	605,000	590,976	14,024
3	女性と子どものための相談支援強化事業	655,000	565,169	89,831
4	健康づくり応援事業	1,792,000	1,350,672	441,328
5	障害のある人も住みやすいまちづくり事業	4,519,000	3,976,821	542,179
6	西区の保育施設つながり事業	761,000	749,576	11,424
7	読書活動推進事業	1,727,000	1,476,080	250,920
8	地域子育てサロン運営支援事業	541,000	307,200	233,800
9	西区で子育て学び隊事業	2,294,000	2,242,042	51,958
10	区役所キッズスペース運営事業	5,098,000	4,795,303	302,697
11	地域の力を生かしたスクールサポート事業	1,461,000	921,180	539,820
小計		22,182,000	19,148,332	3,033,668

3 まちの回遊性向上とにぎわいづくり

(単位：円)

番号	事業名	予算額	決算額	差引
1	地域資源を活用したまちの回遊性向上事業	4,400,000	3,453,071	946,929
2	商店街及び「まち」のにぎわい創出事業	5,279,000	3,744,364	1,534,636 ※2
3	ふるさと西区魅力発信事業	4,512,000	4,323,216	188,784
4	西区民まつり	5,920,000	5,504,741	415,259
5	スポーツ振興等事業	4,475,000	4,475,000	0
6	地域文化振興事業	1,166,000	1,160,000	6,000
7	広報充実事業(5-4→にしくまち歩きマップ分)	1,486,000	685,198	800,802
小計		27,238,000	23,345,590	3,892,410

4 安全・安心なまちづくり

(単位：円)

番号	事業名	予算額	決算額	差引
1	地域防災活動推進事業	12,773,000	12,571,541	201,459
2	安心して暮らせるまちづくり推進事業	2,008,000	878,804	1,129,196 ※3
3	交通安全事業	2,290,000	2,173,291	116,709
4	食中毒・感染症予防対策事業	1,271,000	1,263,239	7,761
5	西区ヨコハマ3R夢推進事業	2,032,000	1,980,899	51,101
6	放置自転車対策事業	5,090,000	3,734,245	1,355,755 ※4
7	西区温暖化対策推進事業	4,321,000	4,369,842	▲48,842
小計		29,785,000	26,971,861	2,813,139

5 親しみやすい区役所づくり

(単位：円)

番号	事業名	予算額	決算額	差引
1	区総合庁舎等環境整備事業	6,375,000	13,515,846	▲7,140,846 ※5
2	サービス改善推進事業	564,000	1,036,221	▲472,221
3	人権啓発推進事業	316,000	222,075	93,925
4	広報充実事業(にしくまち歩きマップ分→3-7)	1,349,000	1,078,613	270,387
5	区民生活マップ作成事業	815,000	1,213,668	▲398,668
6	統計便覧作成事業	600,000	534,050	65,950
7	区政推進運営事業	410,000	468,360	▲58,360
小計		10,429,000	18,068,833	▲7,639,833

		(単位：円)		
総合計		99,781,000	94,908,013	4,872,987

主な増減理由
※1 ふれあい福祉推進事業助成金の残
※2 台風19号接近による商店街イベントの中止等
※3 西区巡回防犯広報活動業務委託の入札残
※4 違法駐車監視員委託の入札残
※5 個人情報、プライバシー保護強化のための窓口カウンター改修にしも広場出入口扉の自動ドア化等バリアフリー対応経年劣化により汚損、破損した区民利用施設の備品更新

3-(2) 令和2年度 個性ある区づくり推進費（自主企画事業費）に係る事業見直し

現年度事業見直し実施方針に基づき、全事業を対象に事業点検を実施しました。

見直しの結果、削減した事業費を活用して新たに新型コロナウイルス感染症対策や新しい生活様式への対応等を実施します。

(単位：千円)

自主企画事業費総額	98,927
見直し金額	▲ 19,587
新型コロナウイルス感染症対策等への活用	19,464

主な見直し内容

▲ 19,587

新型コロナによるイベントや講演会等の中止

▲ 16,481

- ・区民まつりの中止
- ・西区虫の音を聞く会、横浜かもんやま能の中止
- ・赤ちゃん教室の中止
- ・第4期にこまちプラン策定作業の一部を次年度へ持ち越し
- ・家計のやりくりワークブックの改訂延期

その他

▲ 3,106

新型コロナウイルス感染症対策等への活用

19,464

消毒液、非接触温度計等の購入や感染対策経費

6,558

- ・区庁舎内における感染症対策物品の購入 3,595
- ・地域防災拠点等の感染症対策物品の充実 2,100
- ・事業実施にかかる感染症対策物品の購入 863

コロナ禍における事業展開に係る費用

9,726

- ・コロナ禍に対応した新たな形のにぎわい創出事業の実施 4,110
- ・SDGs（目標3：すべての人に健康と福祉を）パネル展の会場借上
（主な内容：新しい生活様式や感染防止に向けた区内企業の取組の紹介） 2,500
- ・GoTo商店街事業の実施 1,590
- ・講座、講演会等の動画作成事業の実施 350
- ・その他コロナ禍に対応した事業手法の転換等 1,176

新しい生活様式を踏まえた環境整備

1,940

- ・区内関連施設との新たな連絡体制の構築（Web会議環境の整備） 1,150
- ・オンラインで実施することもたちの環境学習事業のための環境整備 790

新型コロナウイルス感染症対策関連情報の広報に係る費用

1,240

- ・タウン誌への紙面掲載費用等 1,040
- ・市税申告の郵送手続き勸奨広報 100
- ・区内関係団体、事業者に向けた郵送による各種情報提供 100

3-(3) 令和2年度 西区主要事業の進捗状況について

※下線部は前回(第2回)市議会議員会議後に事業進捗・変更のあったものです。

地域のつながりづくり

ア 「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」の推進 (福祉保健課)(区政推進課) 【予算額 4,368千円(対前年度比 978千円増)】

西区では、「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」(西区地域福祉保健計画、愛称：にこまちプラン)を西区の総合的な計画と位置づけ、その推進にあたっては、区社会福祉協議会や地域ケアプラザと連携した地区支援チームが積極的にサポートし、地域包括ケアシステムの構築に向けても一体的に取り組みながら、地域の様々な活動を支援することで、住民同士の「顔の見える関係づくり」や、地域課題の解決に住民が取り組む機運を一層広げることを目指しています。

令和2年度は、「第3期(平成28～令和2年度)にこまちプラン」の5年目を迎え、今期計画の総まとめとして、引き続き地域主体の取組をサポートし推進していきます。また、令和元年度に実施した現行計画の振り返りを踏まえ、向こう5年間の目指す姿を見据えた第4期計画(令和3～7年度)の策定を、地域や関連機関等と一体となって行います。

また、「西区地域のつながりを育み強める補助金」等の活用や、西区地域づくり大学校とも連携しながら、地域の取組をより効果的に支援します。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大によって、にこまちプラン第4期計画の策定作業を一部翌年度に持ち越すこととなりましたが、その他の事業に関しては、地域の皆様や関係団体等と時期や内容を調整し、実施に向けて取組・検討を進めます。

(1) 「にこまちプラン」の推進等(4,368千円)

① 第3期計画の推進

地域活動の参考となる内容の講座を様々な世代を対象に実施します。また、区PTA連絡協議会と連携しながら、子育て世代を対象に区で実施する事業の情報提供及び地域とのつながりを深めていく機運を高めるための取組を継続実施します。

活動の情報やノウハウを共有して活動の充実につなげるため、地域による取組の発表を中心にした、「にこまちフォーラム」を開催します。

なお、にこまちフォーラムは令和3年2月20日(土)の開催を予定しておりますが、今後の状況を見極めながら開催について検討します。



にこまちフォーラム

② 広報・啓発

学校や放課後キッズクラブ等と連携し、にこまちプランの取組目標と関連付けながら、地域とのつながりや「わたしにできること」について、子どもたちが考える機会を創出します。

7月小学校長会にて、出張形式の授業について案内し募集するとともに、にこまちプラン子ども向け概要版を全校の小学4年生に配付しました。

今後の学校や施設再開の状況、学習プログラムの進捗等を確認し、教育現場の負担とならないよう配慮し進めていきます。



こども向け啓発

③ 第4期計画の策定【拡充】

福祉保健の分野に精通したアドバイザーの助言を踏まえるとともに、「推進・評価委員会」の委員の中から構成される「策定検討会」を設置し、詳細な議論を重ね策定を進めます。

8月3日に第1回目の策定検討会を実施し、第3期計画の振り返りを踏まえ、新たな計画の策定に向けて必要な取組等について委員の皆さまからご意見を伺いました。

今後は、いただいたご意見を踏まえ、区と区社協を中心に向こう5年間の取組内容を検討、それぞれの分野目標ごとに整理し、素案へ反映させていきます。

策定のスケジュールを2か月程度後ろ倒して今年度中の確定を目指します。

ただし、当初予定していた計画の冊子や地区別計画のリーフレットの作成は令和3年度に持ち越します。

なお、策定には推進評価委員会のほか、地区懇談会など地域における会議が必要となるため、全体の進捗状況を確認し、適宜計画の確定スケジュールの再調整も視野に進めていきます。



推進評価委員会

【第4期計画策定に向けたスケジュール(見直し前後)】

実施時期		実施事項	実施内容
旧	新		
2年 3月	2年 3月	策定検討会 (対面開催は中止)	計画の理念や考え方、骨子などを 書面にて確認
7月	<u>8月3日</u>	策定検討会	素案(大枠)の検討
8月	10月	策定検討会	素案の検討
9月	11月	推進・評価委員会	素案の確定
10月	12月	区民意見募集	素案に対する意見公募
11月	3年 1月	策定検討会	素案への区民意見に対する対応検討 計画案の作成
12月	2月	推進・評価委員会	計画案の確定
3年2、3月	2月	啓発	にこまちフォーラムの実施(開催要検討)
4月	4月以降	発行準備	計画スタート 計画冊子、地区別計画リーフレット作成

(2) 地域人材の育成・発掘と地域団体の連携推進(市民局 区配事業)

① 地域のつながりを育む活動への支援

地域活動の充実を目指して自治会町内会を含む2つ以上の団体が連携して行う、課題解決への取組などに対して、「西区地域のつながりを育み強める補助金」を交付します。

現在、多世代交流や子どもたちへの多様な体験機会の提供に対して、継続1件の補助を決定するとともに、子どもたちの健全な育成や地域住民の交流を目的とした取組に対して、継続1件の補助を決定しました。

実施にあたっては、新たな生活様式にも配慮した活動ができるよう支援してまいります。

② 『西区地域づくり大学校』の開催

コミュニティハウスや地域ケアプラザなど、身近な市民利用施設とも連携しながら、協働事業者とともに、地域活動の担い手となる人材の発掘と育成を目指します。

今年度は、Web会議などオンラインシステムの活用といった新しい地域活動スタイルの導入支援等も視野に入れた講座を実施します。

また、修了生の活動支援に向けては、西区地域づくり大学校修了生の情報交換の場として、7月にオンラインシステムを活用し、コロナ禍における活動について情報交換しました。

今後も引き続き、西区地域づくり大学校修了生の取組が地域に根付くよう協働事業者と協力しながら支援していきます。

【西区地域づくり大学校】

・令和2年度テーマ

「今だからこそ」地域のつながりづくり

・実施スケジュール

受講者募集 8月1日(土)～9月25日(金)

講座 10月17日(土)～2月6日(土) (全6回)

定員 15名

【西区地域づくり大学校修了生情報交換会】

・テーマ オンラインで語り合うコロナ禍の近況

・開催日 令和2年7月2日(木)

・参加者数 10名



(参考) R01年度 西区地域づくり大学校
活動風景



(参考) R02年度 西区地域づくり大学校
受講生募集パンフレット

いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

イ 高齢者あんしん生活サポート事業

(高齢・障害支援課)

【予算額 3,058千円(対前年度比 329千円増)】

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を送れるよう、「横浜型地域包括ケアシステム構築に向けた西区行動指針」(令和2年度改訂予定)に基づき、「地域包括ケアシステム推進事業」「認知症等高齢者支援事業」「健康づくり・介護予防事業」の取組を推進します。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、年度前半の事業が一部中止や延期となりました。延期した事業や下半期に予定していた事業については、感染拡大状況を注視し、必要に応じて中止、または広報充実等の代替措置により対応します。

(1) 地域包括ケアシステム推進事業(927千円)

① 地域包括ケアシステム啓発キャンペーンの実施

期間を定め、「在宅医療・介護連携」「生活支援・社会参加の充実」「介護予防」「認知症対策」の推進に関する関係機関や区役所等の取組を一体的にPRするとともに、パネル展や講演会を通して、地域包括ケアシステムを広く周知します。(11月)

② 地域ケア会議へのアドバイザー派遣

地域包括ケアシステムの構築に向けて、区レベル会議(11月)・地域包括支援センターレベル地域ケア会議(随時 4回)にアドバイザーを派遣し、地域課題の抽出から課題解決につながるよう会議の充実を図ります。

③ 「地域で見守りガイドブック」の普及啓発【新規】

地域ケア会議で作成をした「地域で見守りガイドブック」を配布します。(8月→2月)(5,000部)

また、見守りの標準化を図るための研修会を行います。(8月→2月)

なお、研修会について映像資料化し、関係機関・団体が活用できるようにします。(8月→2月)

更に、新たに企業向けにも作成をしていきます。(10月)(1,000部)



地域で見守りガイドブック

(2) 認知症等高齢者支援事業(943千円)

① 認知症予防講演会の開催【新規】

認知症の正しい知識・理解の普及啓発を行うとともに、認知症予防を含めた認知症への備えとなる運動不足の改善・生活習慣病の予防・社会参加の必要性などにかかる取組を紹介する講演会を開催します。(6月→1月)

② 認知症サポーター養成講座の実施

認知症に優しいまちづくりを進めるため、引き続き地域住民、学校や企業等の要請に応じ、認知症サポーター養成講座を実施します。また平沼高校と連携し中学生等を対象とした講演会を開催し、認知症の正しい知識と理解を周知します。(12月→中止)

ウ 障害のある人も住みやすいまちづくり事業

(高齢・障害支援課)

【予算額 3,788千円(対前年度比 731千円減)】

障害のある人が住み慣れた地域で安心して生活できるように、障害に対する理解を深める啓発活動や、電源を要する医療的ケアが必要な在宅障害児・者等への災害対策、自立に向けた生活体験を行う場の創出を行い、障害のある人も住みやすいまちづくりを目指します。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響については、関連事業の中止によって、啓発・PRの機会が大幅に減少しているため、感染予防に留意した上で一部実施する方向で検討を進めています。

(1) 障害のある人に対する理解を深めるための啓発・PR事業(3,421千円)

障害のある人が安心して暮らせるまちづくりを推進するため、様々な機会を通じて啓発活動を行っていきます。

① 地域防災拠点訓練での啓発活動(9月)(4か所)

災害時に配慮が必要な障害者について、地域防災拠点訓練の参加者に周知します。

新型コロナウイルス感染症の影響で地域住民が参加する訓練の中止が多いため、運営委員会への資料配布を検討します。

② 区民まつりでの啓発活動(11月→中止)

区民まつりが中止となり、また新型コロナウイルス感染症の影響等で作業所への受注も大幅に減少しているため、事務作業の委託をするとともに、広報よこはま9月号で作業所の製品紹介記事を掲載しました。

③ 西区ふれあい作品展(12月)(2か所)

障害者週間に合わせて、西区域の個別支援学級に通う中学生や障害のある人たちの文化・芸術作品を展示します。

④ 障害者地域活動支援センターにおける障害理解促進・啓発活動(10月、2月→12月)

障害の当事者と少人数の対話を通して相互理解を促す西区版ヒューマンライブラリーを実施します。

障害者地域活動支援センターでの三密回避が難しいため、今年度は会場を中央図書館に変更します。
併せて、中央図書館と共催で1回のみ実施します。

⑤ 障害福祉関係情報冊子(こんぱす)の増刷(500部→中止)

啓発の機会減少に伴い、在庫を活用する予定です。



区民まつりの様子



ヒューマンライブラリーの様子

(2) 電源を要する医療的ケアが必要な在宅障害児・者等への災害対策(62千円)

人工呼吸器や吸引器などの電源を要する医療機器を日常的に使用している方が災害時に向けた備えを進める取組を実施します。

① 災害時個別支援計画(「わたしの災害対策ファイル」)の作成支援

区内訪問看護ステーションと連携し、対象者への周知と計画の作成勧奨をします。

新型コロナウイルス感染症拡大による影響について、感染が拡大している状況下においても、訪問看護のサービス提供は継続しているため、対象者への周知に大きな影響はないと考えています。(通年)

② ガス式発電機等を設置した福祉避難所6か所と連携した訓練の実施

災害時にガス式発電機をすぐに使えるように、福祉避難所と連携した稼働訓練を実施します。(2月)

(3) 緊急時安心パック(30千円)【新規】

災害時や介護者の急病など、障害のある方が緊急時に生活を継続するために必要な日用品を準備します。(8月)(5セット)

(4) 障害者生活体験事業(305千円)【新規】

西区版生活支援拠点のモデル事業として、精神障害者等が自立した生活を送れるよう、ウィークリーマンションを活用するなどして生活体験を行う場を創出します。

なお、同じ部屋を複数の人が使う事業のため、当初予定よりも体験人数を制限し、消毒や換気を十分に行うなど感染予防を行った上で実施します。

(8月、1月)(60日分)。

エ 健康づくり応援事業

(福祉保健課)

【予算額 1,777千円(対前年度比 15千円減)】

市民の健康づくり計画である第2期健康横浜21を推進し、区民の大きな健康課題である生活習慣病を予防する取組を進めます。また、区民が自身の健康に関心を持つ機会を提供するとともに、関係団体と協力しながら区民の主体的な健康づくり活動を支援します。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大によって、実施を予定していた集団指導は中止することとしましたが、本事業では取組の多くを下半期に予定していることから、現時点では大きな影響はないと考えています。しかし、今後も関連事業の中止によって、啓発・PRの場がなくなるといった状況も想定されるため、代替措置も含め、様々な状況に対応できるよう取組・検討を進めます。

(1) 健康づくり応援イベント(273千円)

6月に実施を予定していた、幼児を対象とした「歯と口の健康週間(フッ化物塗布)」事業や歯科医師会主催の口腔がん検診は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、歯科医師会と協議し中止いたしました。

(6月→中止)



健康づくり応援イベント

(2) 健康情報啓発事業(597千円)

① パネル展等での情報発信

西区ツイッター・インスタグラム等を利用し時宜にかなった健康情報を配信します。

中央図書館等で予定していた健康情報パネル展は、同図書館の再開に伴い8月12日から8月27日まで実施しました。また、9月9日に西消防署と合同で、救急の日パネル展を区役所正面玄関付近で行います。

② 生活困窮世帯の親子歯みがき教室【新規】

生活困窮状態にあるなど、支援を必要とする家庭に育つこどもは、虫歯保有者の割合が非生活困窮世帯に比べて高い傾向がある事から、西区独自の取組みとして生活困窮状態にある世帯の親子を中心に口腔ケアに関する正しい知識の普及啓発を実施し、歯みがき習慣の定着を促進します。

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、集団指導は控え、啓発チラシと歯ブラシ、歯磨き粉を郵便で配布しました。(8月)

(3) 食育推進事業(798千円)

はしの持ち方や朝食摂取など親子への食育普及啓発等を実施します。

3歳児健診の場を活用した集団指導等は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止していましたが、当該健診再開後も引き続き集団指導は中止のため、啓発チラシの配布と個別相談を行います。

(4) 保健活動推進員等の活動支援(109千円)

地域の健康づくりのリーダーである保健活動推進員に測定機器等を貸し出し、活動をサポートします。

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため地域のイベントを中止しており、活動再開時に支援を実施します。

カ 子育て支援の推進

(こども家庭支援課)

【予算額 3,659千円(対前年度比 710千円増)】

本市の平均と比較して出生数に占める第1子の割合や転入・転出率が高い西区において、妊娠期から学齢期まで、切れ目のない子育て支援を進めるため、区内の地域子育て支援拠点や保育所等の関係施設と連携して事業を実施します。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大に係る緊急事態宣言の発令に伴って集団指導等の事業を中止しましたが、緊急事態宣言が解除されたことを受け、感染症拡大防止策を講じた上で順次再開しています。また、冊子等の広報物の作成、内部向け研修等については、一部実施時期の変更等がありますが、概ね当初の予定どおり実施します。

(1) 西区で子育て学び隊事業(2,979千円)

① プレパパママクラス(土曜日開催)【拡充】

平日開催のプレパパママクラスに参加できない就労妊婦やパートナーが、妊娠による身体の変化や子育てについて学べるよう、土曜開催日を前年度より増やします。

(年5回) ※5月23日開催分は中止
7月25日参加者 16組



プレパパママクラス

② 中学校いのちの教室

区内市立中学校の3年生を対象に、いのちの大切さについて学ぶ教室を実施します。講話や沐浴体験、地域の母子とのふれあい体験等を通じて、育児や親の想いを知り、いのちについて考える機会とします。

(全5校) ※今年度は希望校のみ実施 申込数2校(9月1日時点)

③ 子育てガイドの作成【拡充】

これまで作成していた子育て情報誌と子育てマップを統合し、子育ての当事者がより使いやすいガイドを作成します。作成にあたっては、西区子育て支援拠点スマイル・ポートと連携し、内容の充実を図ります。(10月→1月)(5,500部)

④ 「保育所等利用案内」の多言語概要版の作成【新規】

保育施設の利用を希望する外国人の増加に対応するため、「保育所等利用案内」の多言語概要版を作成します。(英語・中国語)(10月)

(2) 女性と子どものための相談支援強化事業(680千円)

① 3歳児健康診査時の臨床心理士による個別相談

子どもの発達の特徴に気づいていない保護者に対しても、適切な助言を行えるよう、3歳児健康診査時に臨床心理士による個別相談を実施します。

(年16回) ※4～6月(4回)は中止、7・8月(3回) 13件実施

② 弁護士等による事例検討・スーパーバイズ

女性や親子の支援に関わる職員が、対応の難しい家庭を適切に支援するため、専門家から助言や事例検討によるスーパーバイズとして研修会を開催します。

(5月:2回)

③ 子ども・家庭支援相談事業紹介ちらしの作成及び配付

乳幼児期から学齢期・思春期までの子育ての心配ごとに関する相談窓口を周知します。(2月)(4,000部)

まちの回遊性向上とにぎわいづくり

キ 地域資源を活用したまちの回遊性向上事業

(区政推進課)

【予算額 4,400千円(前年度同額)】

今後の東京2020オリンピック・パラリンピック等、大規模イベントの開催を見据え、東横線廃線跡地等の地域資源を活かしながら西区の魅力を高める取組を進め、経済の回復と西区全体の賑わいにつなげていきます。

また、京浜急行電鉄株式会社やいすゞ自動車株式会社の本社進出など、企業集積が進むMM21地区の成熟を受け、新たに在勤者の方をターゲットとした情報発信により、西区の魅力を知っていただく機会を創出します。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大によって、大規模イベントの開催時期の変更等がありました。本事業については、イベントの開催状況を踏まえ、新型コロナウイルス感染症予防を考慮した上で、年度内の実施に向けて取組を進めます。

(1) 来街者増加の機会を捉えた回遊性向上(2,400千円)【新規】

今後のイベント開催など、来街者の動向を捉えて、MM21地区と既成市街地の接続ポイントを活用し、魅力向上を図る取組を行っていきます。

ヨコハマトリエンナーレ2020会期中に、三菱ドック踏切通路の環境改善を行います。

また、東横線廃線跡地未供用区間にプランターを設置し、未整備区間も含めた利活用の在り方検討につなげていきます。



三菱ドック踏切通路



東横線廃線跡地未供用区間での緑化

■参考1 地下鉄高島町駅周辺歩行者環境改善検討事業（都市整備局・区局連携促進事業※）
 みなとみらい21地区と既成市街地の交通接続ポイントである地下鉄高島町駅周辺において、安全で快適な歩行者環境整備及び周辺地域の賑わい創出のために現状の調査・分析及び課題整理・解決策の検討を行います。

※区局連携促進事業：区だけでは解決できない地域の課題解決に向け、区と局・統括本部が連携して事業実施に取り組む仕組み。

■参考2 新型コロナウイルス感染症によって開催時期が変更となったイベント

- ① 東京2020オリンピック・パラリンピックの開催延期
 （令和2年7月22日～9月6日 → 令和3年7月23日～9月5日）
- ② ヨコハマトリエンナーレ2020の会期短縮
 （令和2年7月3日～10月11日 → 令和2年7月17日～10月11日）
- ③ 東横線廃線跡地活用実験 第3回イベント（調整中）

(2) 区内在勤者をターゲットとした情報発信等(2,000千円)【新規】

区内在勤者向けに、広報よこはま西区版等、西区の情報を発信する媒体を紹介するリーフレットを作成しました。今後、企業の事業活動の状況も踏まえながら配布を行っていきます。

また、終業後や余暇の動向及び区内の施設やイベントの認知度等について、アンケート調査を行うことで、今後の施策検討及び企業支援につなげます。



在勤者向けリーフレット

■参考 在勤者向けリーフレット
「西区で働いているみなさんへ 西区の耳より情報をお届けします」

発行部数：5,000部
 配布時期：令和2年7月以降随時
 配布先企業：区の事業・イベント協力企業、横浜駅東口・西口振興協議会及び（一社）横浜みなとみらい21加盟企業、西区内の横浜型地域貢献企業、新型コロナウイルス感染症対策支援策周知先団体

ク 商店街及び「まち」のにぎわい創出事業

(地域振興課)

【予算額 4,967千円(対前年度比 312千円減)】

東京2020オリンピック・パラリンピック大会(以下「東京オリ・パラ大会」という。)の開催により、来街者が増加する機会を捉え、区内の回遊性を高める取組みとして、令和2年度の予算計上を行いました。

しかし、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、東京オリ・パラ大会の開催延期が決定したことを受け、商店街連携回遊性向上事業の見直しを行い、商店街支援を実施します。

(1) 商店街連携回遊性向上事業(4,461千円)

① 商店街支援「オウチで西区商店会！」

新型コロナウイルス拡大防止対応として外出等の自粛傾向が継続される中、3密回避として「出前・配達・テイクアウト」のサービスを提供している商店街店舗の情報を西区ホームページやデジタル観光マップ、店舗入り口等へ専用ステッカー提示いただくことで、来街者への周知を行っています。

また、資源循環局「食べきり協力店」と連携を行い、市のホームページへ店舗情報等を掲載し、広報の強化を図りました。

今後は、経済局で実施している支援策について連携を行い、商店街ほか多くの事業者、事業関係団体にPRすることで浸透を図っていきます。



店頭掲示写真



食べきり協力店(横浜市HP)

■参考：協力店舗数等(8/5時点) 商店会数：8商店会、店舗数：20店舗

② 西区商店街スタンプラリー事業

新型コロナウイルス感染症による外出自粛及び休業要請等の影響から、自粛解除となった今でも客足が戻らず、厳しい状況が続く商店を支援するため、商店街へ向かうきっかけづくりとして事業を実施します。

対象者：西区民、来街者及び西区内就業者

開催時期：11月1日(日)～11月30日(月)

対象店舗：西区商店街組合連合会に加盟する商店会及びその加盟店舗

事業概要：対象店舗で1回300円以上の買い物をすると、店舗のスタンプを入手。期間内にスタンプを4つ集めた参加者に対して、抽選で賞品をプレゼントします。



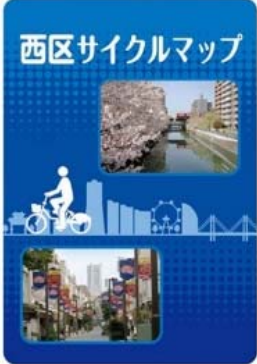
昨年度冊子(参考)

③ ベイバイクでまわる西区サイクルマップ【拡充】

新旧市街地の回遊性向上を目的として発行した「サイクルマップ」について、区内区外の来街者への西区の魅力発信の強化を図ります。(通年)

なお、増刷に伴い、新設されたサイクルポートを追加掲載するほか、新たに花の名所として藤の花やビュースポットを掲載することで、西区の魅力発信及び旧市街地への回遊性向上を図ります。

■参考：サイクルマップ
 発行：平成31年3月（ふるさと西区推進委員会）
 発行部数：5,000部（配布部数：4,400部 令和2年7月現在）
 配布場所：西区役所、各施設、区内イベント会場等
〈増刷に伴う追加項目〉
 桜スポット：10か所→19か所
 紅葉スポット：6か所→7か所
 藤スポット：（新規）13か所
 注 意 事 項：新型コロナウイルス予防注意喚起、自転車保険加入義務化



サイクルマップ

(2) まちの賑わい創出事業(506千円)

① デジタル観光マップを活用した商店街情報発信事業

スマートフォンを使って手軽に検索できる「デジタル観光マップ」を活用し、スタンプラリー参加店舗や「オウチで西区商店会！」等の商店街振興事業への協力店舗を紹介することで、区内商店街への来街者の増加を図ります。(通年)



西区デジタル観光マップ投稿(一部)

■参考：デジタル観光マップの掲載スポット数
 掲載スポット数：276件（令和2年7月29日現在）
 配信開始：令和元年8月（掲載スポット数：157件）

② インスタグラム事業

写真に特化した魅力発信ツールの「インスタグラム」を活用し、イベント情報や区の歴史的資産等をPRすることで、フォロワー数と来街者の増加を図り、まちの賑わいづくりに繋がります。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止対応としてイベントの開催が行えない等の際は、過去の開催写真を発信することで西区の歴史的資産を伝える他、フォロワーの方からの投稿写真を掲載することで、継続的に魅力発信を行います。(通年)



西区インスタグラム投稿写真(一部)

■参考
 インスタグラム実績(8/11時点)
 投稿数：125件
 フォロワー数：913名

ケ スポーツ振興等事業

(地域振興課)

【予算額 4,475千円(対前年度同額)】

東京2020オリンピック・パラリンピックの来年開催に向けて、壁面装飾などによる大会の啓発活動、競技種目の体験や地区センター等の身近な施設でスポーツに親しむ機会を提供します。また、ウォーキングイベントの開催により、子どもから高齢者まで幅広い年齢層の健康づくりを推進します。

なお、各事業の開催時期につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に関する国等の通知を踏まえ、関係機関と協議を進めます。

(1) 東京2020オリンピック・パラリンピック開催に合わせたスポーツ振興(3,700千円)

① 東京2020大会の啓発活動等の実施

東京2020オリンピック・パラリンピック開催に向けて、スポーツを身近に感じられるよう、壁面装飾(一本松、宮谷、平沼小学校)などによる啓発活動や競技種目の体験会を実施します。

(壁面装飾等啓発活動：通年実施、競技別種目体験会：2月実施)



西区庁舎壁面装飾



西区バドミントン教室

② 区内施設と連携したスポーツ振興【新規】

東京2020オリンピック・パラリンピック開催に向けて、区内各所の施設と連携してオリンピック・パラリンピックの競技種目を身近な場で親しめる機会(巡回展示や動画配信等)を提供します。

なお、接触の多い競技を避けるなど、感染症拡大防止に十分配慮して実施します。

(10月～2月)(3施設)



区内施設が実施したボルダリング教室

③ ハマのウォーキングフェスティバル

区民の健康づくりと西区再発見を目的として、広く区民を対象としたウォーキングフェスティバルを開催します。(12月)

(2) 区民体育振興事業、区青少年活動推進事業(775千円)

西区スポーツ協会、青少年育成団体等へ補助金を交付し、活動を支援します。

コ 西区の緑化と地域のつながり形成推進事業【新規】

(西土木事務所)

【予算額 2,053千円】

西区では市街化の進展によって緑が少なくなっていますが、その中で残された大規模な公園や緑地とともに、身近にある公園は区民が緑を感じることでできる貴重な場となっています。区内の花壇がある公園に対し花苗の提供や協働での植え付け作業を行うことにより、季節感のある緑や花による憩いの空間づくりを進めます。

また、西区内の公園のうち、8公園に藤棚が整備されていますが、開花の時期になっても藤棚全体に花が広がらず、乏しい状態となっています。そこで、藤棚全体に花を咲かせるため、藤の育成・維持管理の手法を構築するため専門家に講師を委託し、藤棚の再生に取り組みます。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大によって、年度前半の事業は中止や規模の縮小等の対応をとりましたが、今後は、新型コロナウイルス感染症の収束状況を考慮した上で、代替事業の検討も含め、取組を進めます。

(1) 公園・施設等の緑化推進(1,553千円)※移管事業

① 花苗・球根の購入・提供と花苗植えの協働実施 (年2回、30公園)

例年協働で行っていた春の花植えは中止とし、7公園は委託業者で実施、また、希望のあった11の公園愛護会には花苗を配布し、独自で花植えを行っていただきました。秋の作業については、新型コロナウイルス感染防止対策を取りながらも極力地域交流を進める取組となるような実施方法を検討します。



公園での花苗植え作業

(2) 藤の花再生プロジェクトの推進(500千円)【新規】

① 公園の藤棚による維持管理の試行(通年)

6月23日に浜松町公園で夏季作業の講習会を開催し、区内で藤棚を管理している施設スタッフの皆様や西土木事務所の職員等、約20名が参加しました。ここで学んだ知識に基づき残り7公園の夏季作業を7月中旬に終わっています。今後は、講師に夏季作業後の状況を確認していただきながら、冬季作業の講習会を予定します。



講習会の様子

② 地域への維持管理手法の共有(通年)

公園にある藤棚だけではなく、地名の由来となっている藤棚商店街の藤棚をはじめ区内にある他の藤棚でも再生につながるように、他の施設などと情報を共有するとともに、この維持管理の試行を協働して実施して、藤棚を通じた地域のにぎわい活性化を目指します。新型コロナウイルス感染症の影響下ではありますが、現場作業の際に声をかけるなど、できる限り他の藤棚管理者の皆様と連携をとりたいと考えています。



西土木事務所ホームページの藤の花再生プロジェクトコーナー

③ 藤の花再生プロジェクトの情報発信(通年)

6月19日からツイッターでの情報発信を開始、管理作業のポイントや藤棚の紹介などをツイートしていきます。また、西土木事務所のホームページに藤の花再生プロジェクトのコーナーを開設し、こちらでも同時に情報発信を行います。



ツイッターでの情報発信

サ 西区環境行動推進事業

(区政推進課)

【予算額 2,908千円(対前年度比 1,413千円減)】

横浜市が「SDGs未来都市」に選定されたことを受け、区民・企業・区の各主体が相互に協働・連携し、総合的に温暖化対策等の環境に配慮した取組を推進していきます。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大によって中止した取組については、代替や延期で対応しました。また、今後は、新型コロナウイルス感染症の収束状況を考慮し、取組を進めていきます。

(1) 区内企業や施設と連携した環境イベントの実施(1,504千円)

環境に配慮した具体的な行動の実践の拡大を目指し、

- ・ 区民参加型イベント「にしくecoチャレンジ」やライトダウンイベントなどによる、環境配慮行動の周知・啓発
- ・ 次世代を担う子どもたちへの環境学習支援
- ・ 区内における地産地消の啓発イベント

などについて、新型コロナウイルス感染症予防にも配慮しつつ実施します。

また、区内企業における「新しい生活様式」や「SDGs」の実践に関する取組を紹介する「SDGsパネル展」を開催します。取組と併せて、企業の事業内容等のPRの場を設けることで、企業活動の回復支援につなげます。

さらに、パネル展は「にしくecoチャレンジ」の連携イベントとし、西区での環境配慮に向けた取組の一体的な実施を目指します。



(参考)2019年度にしくecoチャレンジリーフレット

■参考1 新型コロナウイルス感染症による影響
当初想定していた事業の延期に伴う新たなスケジュール
みなとみらいスマートフェスティバルの中止(8月)
⇒ライトダウンイベントを秋以降に延期

■参考2 にしくecoチャレンジ2020
実施時期：令和2年11月2日～令和3年1月15日
概要：新しい生活様式や環境配慮行動の取組をパンフレットに記載し、日常生活での実践を促すとともに、応募者には抽選で景品を贈呈する。

■参考3 SDGsパネル展(にしくecoチャレンジ 連携イベント)
実施時期：令和2年11月～12月(予定)
概要：西区に立地している企業の取組紹介、事業内容PRのパネルを製作し、区内の商業施設や区民利用施設等にて展示する。

(2) 緑のカーテン等の普及(1,404千円)

区内における緑のカーテンづくりについては、新型コロナウイルス感染症の拡大により栽培講座等が中止となりましたが、区民の皆さまや、小学校・区民利用施設等にご協力いただき、当初目標である249㎡分のゴーヤ苗を配布することができました。

今後は、区内で育てられた緑のカーテンの写真を募集し、「SDGsパネル展」においてご紹介します。



区内公共施設における
緑のカーテン設置の様子

- 参考1 新型コロナウイルス感染症による影響
当初想定していた事業の中止に伴う代替事業
(中止となった事業・イベント)
- ・区民向け栽培講座：5/25～5/27、全3回
 - ・ゴーヤ苗配布：5/24 みなとみらい農家朝市
5/25～5/27 栽培講座開催後
- (代替事業)
- ・区役所来庁者に向けて、150人分(300pot)の苗を配布(5/27、5/28)
 - ・西土木事務所及び資源循環局西事務所敷地内にて、シンボリックに緑のカーテンを設置

- 参考2 緑のカーテン写真募集
募集期間：令和2年7月20日～9月13日

シ 西区ヨコハマ3R夢推進事業

(地域振興課)

【予算額 2,319千円(対前年度比 287千円増)】

清潔できれいな街づくりを推進するとともに環境負荷の低減を図り、豊かな環境を次世代に引き継ぐために、地域清掃活動の支援や3R行動の推進を行います。

なお、新型コロナウイルス感染症への対応として、集団イベントについては、規模縮小等の対応をとりましたが、その他の取組については、積極的に代替事業を展開し、事業効果の最大化を図ります。

(1) 清潔できれいな街づくりを進める事業(1,762千円)【拡充】

① 地域清掃活動支援強化事業(WELCOME YOKOHAMA CLEAN SUPPORTER)

企業等と連携し、横浜駅周辺の地域清掃活動を一体的な活動として支援を継続します。

また、大規模なクリーンキャンペーンは行わず、短時間・少人数による清掃活動、企業協力による啓発を行います。(通年)

さらに、ポイ捨て対策として、新田間川沿い遊歩道に横断幕等の視認啓発を実施します。



大型モニターでの啓発(期間:7/29~12/31)



行政(関係区局)による清掃活動(4回目)

② 地域清掃推進

自治会・町内会等による地域清掃に対し、清掃用具を配布しました。(配布済7/26)
令和2年度からは、バイオマスプラスチック製品のごみ袋を使用します。

■参考：化石燃料のごみ袋に比べ、BP90%製品のごみ袋によるCO₂は約70%の削減効果です。



参考:第2地区配布状況



参考:第3地区配布状況

(2) 3R行動を推進していく事業(319千円)【拡充】

テイクアウトやまとめ買い等による食べ残し(食品ロス)やワンウェイプラスチックごみの増量が見込まれることから、資源循環局西事務所と連携し、懸垂幕の設置やチラシによる視認啓発、企業協力による店頭での視認啓発を実施しています。



懸垂幕



惣菜売り場



正面入口

協力:サミット横浜岡野店

(3) 西区環境行動推進本部の運営(152千円)

西区環境行動推進功労者表彰を実施しました。

(7/27開催、個人8・団体9)



表彰式

(4) こどもたちの環境学習支援等(86千円)

ペットボトルリサイクルとして、(公財)横浜市資源循環公社との連携、企業との協力のもと、みなとみらい本町小学校5・6年生を対象に新しい生活様式を取り入れたオンライン講座により、3Rを学び、ペットボトルリサイクル100%の布を使用した手作りマスクを作成しました。(7/9、10、14、15、28)



オンライン講座



質疑応答



マスク作成



マスク完成

ス 交通安全事業

(地域振興課)

【予算額 2,424千円(対前年度比 134千円増)】

地域、学校、警察、関係団体と連携し交通事故防止対策として、交通安全教室の開催や啓発キャンペーン活動、スクールゾーンの安全対策等、地域の交通安全事業を強化します。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大によって、年度前半の事業を延期していましたが、小学校が再開したため、順次事業を実施しています。

(1) 小学校への交通安全教育事業(200千円)

新入学児童の交通安全教室は、特に早期の実施が求められるため6月末までに全校実施を目指していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止による臨時休校のため延期し、再開後、学校行事等の状況を踏まえ、各小学校の要望に沿った交通安全教室を開催しています。



教室での講話



体育館での体験型教室

(2) 交通安全運動推進事業(976千円)

各季交通安全運動西区キャンペーン等を開催し、パネル展や啓発物品の配付等により区民をはじめ、来街者へ交通事故防止を呼びかけます。



夏の交通事故防止運動



昨年の年末の交通事故防止運動

(3) スクールゾーンにおける安全対策(1,248千円)

各小学校のスクールゾーン対策協議会に対し、活動助成金を交付し運営の支援を行うとともに、協議会の協議に基づき、自治会・町内会、警察、関係団体とともに、通学路の安全設備等(路面標示の補修・新設、電柱巻等)の整備を行います。

セ 安心して暮らせるまちづくり推進事業

(地域振興課)

【予算額 2,011千円(対前年度比 3千円増)】

特殊詐欺被害の防止など区民が安心して生活できるまちづくりの推進のため、「地域の安全は地域で守る」をテーマに、地域住民や警察署、防犯協会等と連携し、防犯啓発活動を強化します。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大によって、人が多く集まるキャンペーン等の啓発が行えない状況ですが、当該感染症の支援としての特別定額給付金に関する詐欺が増加しているに伴い、戸部警察署と連携して取り組んでいきます。

(1) 防犯情報提供・意識啓発事業(394千円)【拡充】

犯罪被害を未然に防ぐため、戸部警察署と連携し、犯罪手口にあわせた防犯啓発チラシの作成・区民への配布、広報よこはまでの注意喚起、区内で発生した犯罪情報のリアルタイムなメール配信等を継続的に行います。

また、特殊詐欺対策(だまされた振り作戦)の玄関ステッカーの配布、「地域安全西区民のつどい」の開催、交通安全事業と一体的に取り組むなど、あらゆる機会をとおして、防犯意識の啓発を行い、犯罪被害の抑制を図ります。

さらに今年度から警察署、西区防犯協会が開催する防犯教室等に協力するとともに、小学校の交通安全教室と同時に防犯教室を実施しています。(4校実施(7月31日時点))

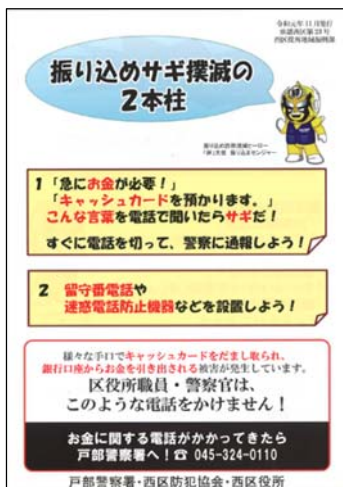
特別定額給付金に関わる詐欺等の新たに発生する犯罪被害防止及びひったくり等の抑止に向けて、防犯メールには具体的な町名を明記するとともに西区及び戸部警察署それぞれのホームページ等を活用した情報配信に取り組んでいきます。

(2) 青色パトロールの実施(1,617千円)

被害件数が増加している特殊詐欺対策のため、戸部警察署及び民間警備会社と連携し、防犯メールに明記した地域を中心に青色(防犯)パトロールを強化しています。

■参考

- ・特殊詐欺被害額等 R1年：約6,700万円(件数：54件) H30年：約1億400万円(件数：32件)
- ・青色パトロール実施回数 週1回程度、年48回(R2年度 16回(4月～7月) R1年度 48回)



防犯啓発チラシ



防犯教室

ソ 地域防災活動推進事業

(総務課)(福祉保健課)

【予算額 12,773千円(前年度同額)】

西区の「安全・安心なまちづくり」の実現に向け、地域における防災機能の強化を図るとともに、減災対策など自助・共助の取組を進め、地域防災力の向上を推進します。

今年度の防災訓練は、新型コロナウイルス感染症に対する国や神奈川県対処方針を踏まえた本市の危機対処・防災訓練の実施方針に基づき、市内の感染状況・動向から各訓練が可能と判断された場合には、実施することとします。

○現時点での総務局危機管理室の方針

屋内・屋外ともに5,000人以下の訓練以外については、実施を自粛

※ 今後、状況の変化等により、新たな方針が示される予定

(1) 地域防災拠点の機能強化(1,312千円)

① 地域防災拠点訓練の実施

「西区地域防災拠点管理運営委員会連絡協議会」を
書面開催しました。発災時に各地域防災拠点(以下、
「拠点」)が円滑に開設・運営されるよう、訓練又は
研修を実施します。(8月～3月、各拠点1～2回予
定)

なお、訓練又は研修の実施にあたっては、「3密」
を避けるなど、新型コロナウイルス感染予防対策に十
分配慮して実施します。



8月30日一本松小学校の訓練の様子

実施日	拠点名	訓練内容	備考
8月30日	一本松小	通信訓練、資機材整備	運営委員のみで実施
	老松中	通信訓練	運営委員のみで実施
9月5日 (予定)	浅間台小	通信訓練	運営委員のみで実施
9月13日 (予定)	平沼小	備蓄庫整理・確認、資機材点検	運営委員のみで実施
	岡野中	拠点立ち上げ・各班訓練、通信訓練	運営委員のみで実施

※戸部小、東小、宮谷小、西前小、稲荷台小、西中、軽井沢中は未定

② 多様な避難者への対応支援

女性、乳幼児、高齢者や障害者といった要配慮者及びペット同行避難者、外国人な
どの避難者を発災時に拠点对応できるよう各拠点の実情に対応した支援を行います。

また、各拠点での感染症対策が進むよう「新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた地域防災拠点の開設・運営のポイント」(総務局危機管理室作成)を周知し、体温計、テントなどの物品を順次整備しています。

(2) 区本部の防災機能強化(5,569千円)

① 河川水位上昇に係る調査の実施

中央大学と共同で実施した帷子川水位上昇に係る調査結果について、実用化に向けて実降雨を用いた精度向上を図ります。7月21日に大学及び事業者と今年度の進め方について協議を再開し、実際の降雨データ（ゲリラ豪雨を計算の基礎データに活用するなど）を基にして河川水位の計算結果の精度を検証していきます。

② 帰宅困難者一時滞在施設の確保

JR横浜タワーの開設に合わせて、帰宅困難者一時滞在施設として協定を締結しました（6月）。また、4月に協定を新たに締結したパシフィコ横浜ノースと訓練等を通じて、施設関係者と連携強化を図ります。

③ 震災・風水害対策の強化【拡充】

災害時を想定した震災・風水害対策本部のシミュレーション訓練を実施します。また、令和元年に発生した台風を踏まえ、避難場所の開設、運営、資機材の取り扱い訓練を重点的に実施し、停電対策や避難場所における備蓄品の配備、感染症対策を進めるなど、災害対応力を強化します。

・区職員風水害対応訓練を6月4日に実施（24名参加、避難場所の開設運営手順等を確認）

・震災時における行政機関のタイムラインの情報共有及び図上訓練を8月4日に実施（区役所、西消防署、戸部警察署）

・停電対策としてソーラーパネル、蓄電池及びランタンを地域防災拠点に配備

・風水害時避難場所の感染症対策として、体温計、テント等の整備及び各避難場所の開放スペースを拡充



6月4日区職員風水害訓練の訓練の様子

④ 災害医療対策の推進

災害医療連絡会(2月)を通じて区内の関係機関・団体と連携し、災害時の医療救護体制の課題や対応策について検討します。

また、医療救護隊巡回訓練(1月予定)や区内医療機関・医療局との通信訓練(隔月)、区本部訓練等を通じて、発災時の対応力を強化します。

(3) 自助・共助の推進(5,892千円)

① 木造住宅密集地域における減災対策

感震ブレーカー簡易タイプの購入に係る補助事業を補助率「3分の2」から「10分の9」に引き上げ、引き続き推進します。感震ブレーカーの認知度向上及び延焼火災対策としての有効性の理解促進を図るため、広報よこはま8月号や単位町内会へ個別説明を行うなど、区民への周知を強化します。

また、老朽化した初期消火器具等の更新に係る補助事業を引き続き実施し、延焼火災対策を推進します。

■参考1：感震ブレーカー補助実績
令和2年度（8月31日時点）：244個
令和元年度：206個
平成30年度：413個

■参考2：初期消火器具更新実績
令和2年度（8月31日時点）：3基
令和元年度：7基
平成30年度：14基

② 多言語版防災マップの作成【拡充】

外国籍の住民でも防災情報を容易に入手できるよう、防災マップを複数言語化し、ホームページ上で提供します。

■参考：対応言語
令和2年度：韓国語、ネパール語、ベトナム語
令和元年度：英語、中国語

③ 幅広い世代や企業を対象とした防災・減災啓発【拡充】

みなとみらい地区での起業立地が進んでいることを踏まえ、市民との協働も見据えた企業向けの防災講演会を開催します。

共助を中心とした防災の重要性が増しているため、新たに高齢者を対象とした啓発冊子を作成します(12月)。

また、次世代の防災の担い手となる、小・中学生に向けたセミナーを引き続き実施します。

■参考：令和2年度小・中学校向けセミナー実績及び予定
・7/10 浅間台小学校3年生の防災出前講座（西消防署と共同実施）
・9/1、10 西前小学校4年生の社会科授業支援

■参考：地域及び地域事業者向けに実施した防災研修実績
・7/28 西区自立支援協議会防災会議において防災マップについての説明会実施

3-(4) 令和3年度 西区予算編成の基本的な考え方(案)について

《予算編成の基本的な考え方(案)》

新型コロナウイルスの感染拡大は、収束の見通しが立たず、区民の生活や経済に深刻な影響が生じています。新型コロナウイルス感染症の影響を十分に把握した上で、「感染症対策の強化」と「経済再生の実現」に取り組んでいく必要があります。

また、第4期「にこまちプラン」(西区地域福祉保健計画)が初年度を迎え、地域包括ケアシステムの構築に向けた西区行動指針と併せて、地域課題の解決に向けた取組をより一体的に進めることが求められています。

そうした状況を踏まえ、令和3年度の西区予算編成では、西区の基本目標の達成に向けて、以下の重点項目を設定し事業の検討を進めます。

1 基本目標

つながりを大切に 誰もがにこやかしあわせなまち 西区へ

2 重点項目

(1) 地域のつながりづくり

「にこまちプラン」の推進を通じて、地域主体の取組、課題解決の場づくりや担い手づくりを支援するとともに、つながりづくりを応援します。

新型コロナウイルス感染症の影響により活動が難しい状況が続く中で、地域や活動者の声に寄り添い、支援を続け、活動の維持発展に向けた新しい手法も検討し実践します。

(2) いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

子どもから高齢者まで誰もが健康に暮らせる環境づくりとして、切れ目のない子育て支援、高齢者や障害のある人への活動のサポート、生活困窮者への相談支援、感染症予防、生活習慣病予防などの健康づくりを進めます。

(3) まちの回遊性向上とにぎわいづくり

東京2020オリンピック・パラリンピックを契機とした取組を進めます。

また、このような機会によって醸成された「にぎわい」を継続させるため、西区の歴史や地域資源を活かした伝統的な催事を、新しい生活様式を踏まえた上で、地域・企業の皆さまと協働で実施し、西区の魅力発信・まちのにぎわい創出につなげます。

(4) 安全・安心なまちづくり

新型コロナウイルス感染症対策など健康危機管理に(強力的に)取り組むとともに、要援護者対応など自助・共助の取組の支援、横浜駅やみなとみらい地区等、大規模施設を抱える西区の特性に応じた防災・減災対策、地域と連携した防犯・交通安全対策、食中毒予防などに力を入れて取り組みます。

(5) 親しみやすい区役所づくり

区民の皆さまに寄り添った、きめ細かな窓口サービスを提供します。

また、西区の取組や魅力などを、SNS等さまざまな広報媒体を有効に活用し、積極的に発信します。

3 予算編成の進め方

(1) 事業の検討にあたっては、円卓会議をはじめ、様々な機会を通じていただいた区民の皆様のご意見・ご要望を予算編成に活かすよう努めます。また、「チーム西区役所」としての総合力を発揮し、区役所各課のみならず、関係局と事業内容について十分に連携・調整を図ります。

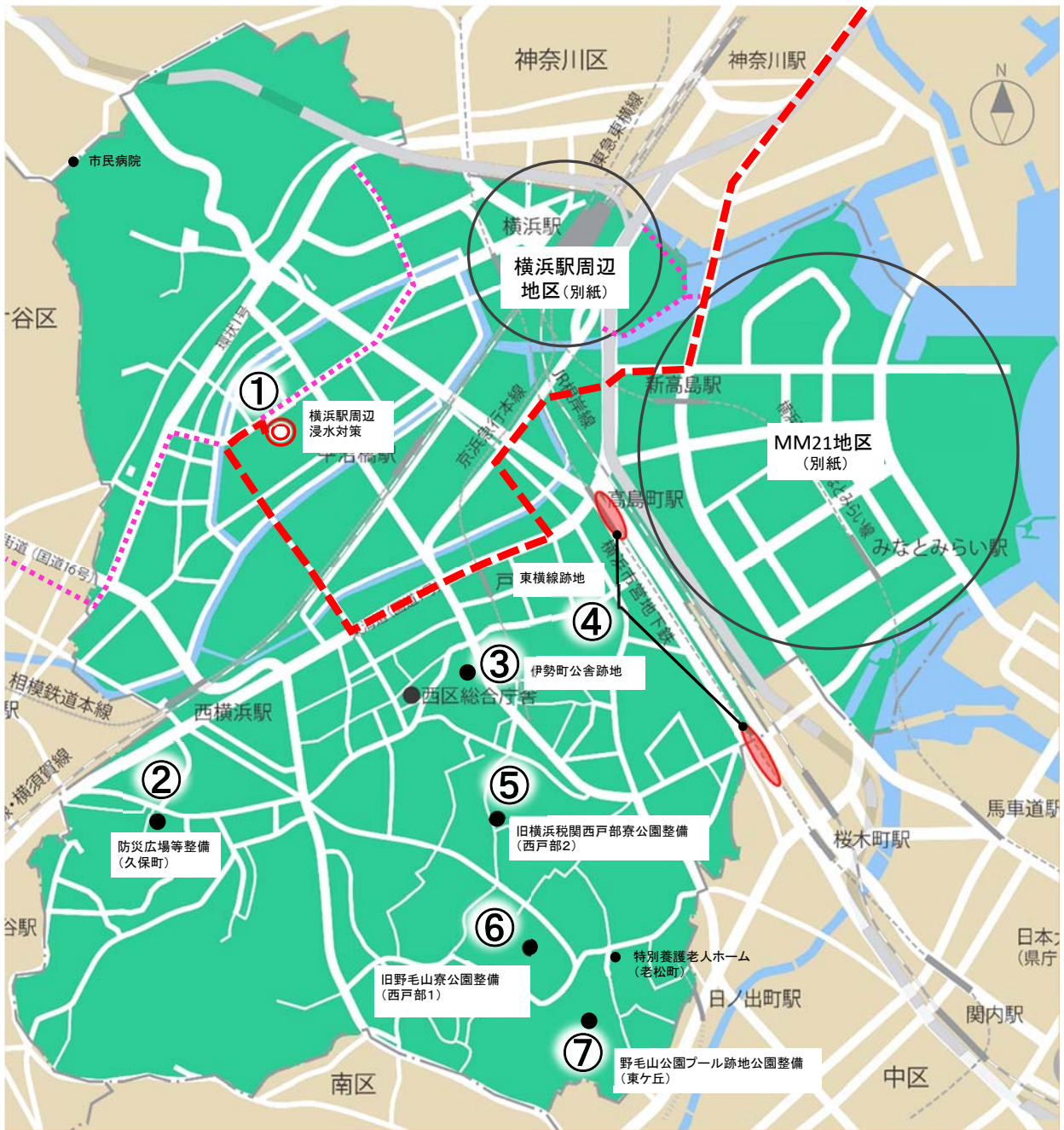
(2) 地域の新たなニーズや課題、特に新型コロナウイルス感染症によって変わった新しい社会に対応するため、全ての事業について、課題認識を新たにし、ゼロベースから必要性や効果、事業手法等の検証を行うことにより、積極的な見直しを実施します。その他、市全体の施策推進・予算編成・組織運営の重点方針に即して編成を進めます。

3-(5) 西区における開発動向等について

地区	概要
①	<p>横浜駅周辺浸水対策</p> <p>(1) 神奈川処理区エキサイトよこはま龍宮橋雨水幹線及び東高島ポンプ場整備事業 横浜駅周辺では10年確率降雨(60mm/1時間)に対する整備を行ってきましたが、さらなる治水安全度の向上に向け、30年確率降雨(74mm/1時間)に対応するため、新たに雨水幹線及びポンプ場の整備を予定しています。 地元の皆様や野球場利用団体と調整を行い、雨水幹線の立坑を岡野公園の野球場の一部に設置することとしています。現在、令和2(2020)年度の工事着手に向けて設計を進めています。</p> <p>【スケジュール】 平成30～令和2(2018～2020)年度 詳細設計・関係機関等協議 令和2(2020)年度 工事着手予定 令和12(2030)年度 供用開始予定</p> <p>(2) 水位周知下水道 地下街周辺等の公共下水道の水位を計測し、その情報を大雨時の水防活動に有効に活用することを目指し、取組を進めます。</p> <p>【スケジュール】 平成29～令和元(2017～2019)年度 水位計測、データ解析、周知方法の検討 令和2(2020)年度 水位計測、データ解析、周知方法の検討、水位情報の提供(予定)</p>
②	<p>久保町防災広場等整備 老朽化した防火水槽の更新に向け、防災広場の整備を行います。</p> <p>【施設概要】 防災広場等 【スケジュール】 令和2(2020)年度 工事(防火水槽撤去、防災広場・新設道路整備)(8月着工予定) 令和3(2021)年度 移管手続(予定)</p>
③	<p>伊勢町公舎跡地 約2haの土地のうち、南側の約4,000㎡については市が県から取得し、隣接する伊勢町もくせい公園の拡張部として整備しました。</p> <p>【スケジュール】 令和2(2020)年5月～12月(予定) 消防団器具置場設置工事</p>

地図	概要
④	<p>東横線廃線跡地</p> <p>桜木町駅西口広場付近から紅葉坂交差点までの区間が令和元年7月16日に歩行者専用道路として供用開始されました。令和元年度には、供用区間の利活用に関する実験イベントを2回（9月24日、12月20日）開催しました。引き続き紅葉坂交差点付近から横浜駅方面の整備に向けた検討を行っていきます。</p> <p>旧高島町駅付近の高架下は平成30年8月から「R16 国道16号線スタジオ」として暫定活用をしており、アーティスト・クリエイターの創作活動の場となっています。</p>
⑤	<p>旧横浜税関西戸部寮公園整備</p> <p>環境創造局が国家公務員宿舎跡地を取得し、街区公園として整備する予定です。</p> <p>【施設概要】 公園面積 約1,500㎡</p> <p>【スケジュール】</p> <p>平成29～令和元(2017～2019)年度 用地取得</p> <p>令和2(2020)年度 既存建物解体(9月着工予定)、公園計画の検討</p> <p>令和3(2021)年度以降 公園設計、公園整備工事(予定)</p>
⑥	<p>旧野毛山寮公園整備</p> <p>当該地は、一本松まちづくり協議会のエリア及び地震火災対策方針における重点対策地域に含まれ、平成21年度に地域から市長あてに公園整備の要望書が提出されています。都市整備局が国家公務員宿舎跡地を取得し、防災に資する街区公園の整備、取付道路の整備等を行います。</p> <p>【施設概要】 公園面積 約1,700㎡</p> <p>【スケジュール】</p> <p>平成29～令和元(2017～2019)年度 用地取得</p> <p>令和2(2020)年度 道路整備工事、公園設計(予定)</p> <p>令和2(2020)年度以降 公園工事等、移管手続(予定)</p>
⑦	<p>野毛山公園プール跡地公園整備</p> <p>プールは老朽化のため平成21年に解体され、跡地利用の検討・調整を行ってききましたが、隣接する野毛山公園の拡張部として整備を行うことが決定しました。</p> <p>【施設概要】 土地面積 約6,200㎡</p> <p>【スケジュール】</p> <p>平成30～令和元(2018～2019)年度 公園計画の検討</p> <p>令和2(2020)年度 所管替え、公園計画の検討</p> <p>令和3(2021)年度以降 公園設計、公園整備工事(予定)</p>

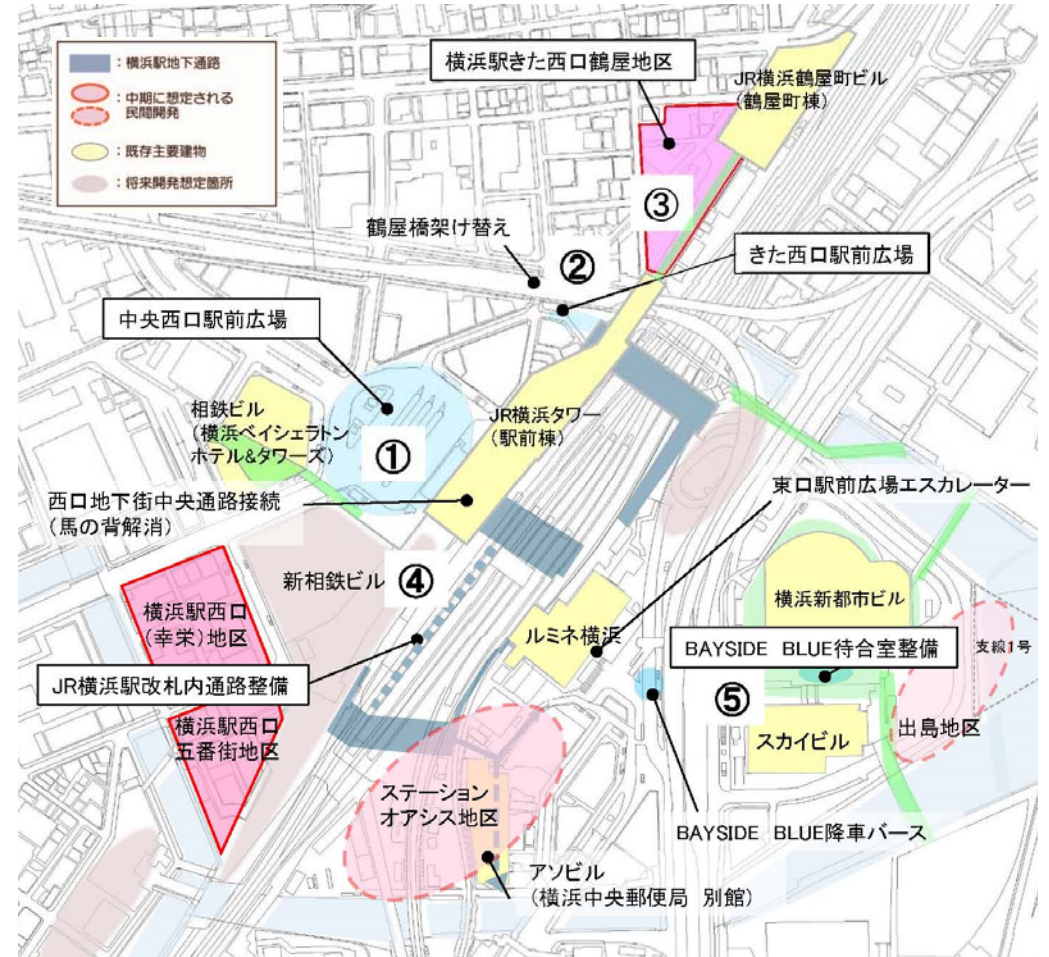
西区開発動向分布図



3-(5) 西区における開発動向等について(横浜駅周辺地区)

横浜駅西口	東日本旅客鉄道(株)によりJR横浜タワー及びJR横浜鶴屋町ビルの建設工事が竣工しました。 また、神奈川県になります。③横浜駅きた西口鶴屋地区では国家戦略特区を活用し、グローバル企業誘致に資する居住機能を有した再開発事業(住宅、ホテル、商業施設等)を進め、令和元(2019)年10月に建築工事に着手しました。
横浜駅東口	横浜中央郵便局及びその周辺地区における民間開発の事業化に向けて、ステーションオアシス協議会(日本郵政(株)、東日本旅客鉄道(株)、京浜急行電鉄(株)、横浜市)により、地下駐車場など地下の工事方法について詳細な調査を実施したところ、地盤改良や近接する鉄道への対策工事等による事業費への影響が大きいことが判明し、地下の掘削部分を縮小するなどの検討を行っています。さらに、関連する基盤施設整備として、駅前広場やデッキ等の検討を行っています。
①	中央西口駅前広場 令和元(2019)年7月～令和2(2020)年7月 JR横浜タワーアトリウム前 令和2(2020)年8月～令和5(2023)年3月 横浜モアーズ前、横浜高島屋前 (令和3(2021)年7月～9月はオリンピック・パラリンピックのため休工予定)
②	きた西口駅前広場 令和元(2019)年7月～令和4年3月
③	横浜駅きた西口鶴屋地区(再開発ビル) 事業者: 横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発組合 階数・高さ: 地上43階/地下2階、約178m 用途: 住宅、ホテル、商業施設等 平成29(2017)年度 再開発組合設立 令和元(2019)年度 建築工事着工 令和5(2023)年度 竣工(予定)
④	JR横浜駅改札内通路整備 東日本旅客鉄道(株)により、JR横浜駅改札内において、中央南コンコースと南コンコースを結ぶ新たな地下通路及びホームへのエレベーターを整備しています。 令和2(2020)年8月10日 使用開始
⑤	BAYSIDE BLUE(ベイサイドブルー)の待合室整備工事 連節バス「BAYSIDE BLUE」を導入し、横浜駅東口～山下ふ頭間の水際線沿いの主要な施設を結びます。横浜駅東口バスターミナル内に利用者向けの待合室を整備します。 令和2(2020)年度 整備完了

令和2年7月末時点



【全体スケジュール】

- 令和元(2019)年7月 ①②中央西口・きた西口駅前広場の整備工事着手
- 令和元(2019)年10月 ③横浜駅きた西口鶴屋地区再開発工事着手
- 令和元(2019)年12月 西口地下街中央通路接続事業(馬の背解消)新設通路開通
- 令和2(2020)年3月 JR横浜タワー、JR横浜鶴屋町ビル竣工
- 令和2(2020)年7月 ①中央西口駅前広場 JR横浜タワーアトリウム前工事完了
- 令和2(2020)年8月 ①中央西口駅前広場 横浜モアーズ前、横浜高島屋前工事着手
- ④JR横浜駅改札内通路整備完了
- 令和2(2020)年度 ⑤BAYSIDE BLUE 待合室整備完了(予定)
- 令和3(2021)年度 ②きた西口駅前広場整備完了(予定)
- 令和4(2022)年度 ①中央西口駅前広場整備完了(予定)
- 令和5(2023)年度 ③横浜駅きた西口鶴屋地区の竣工(予定)

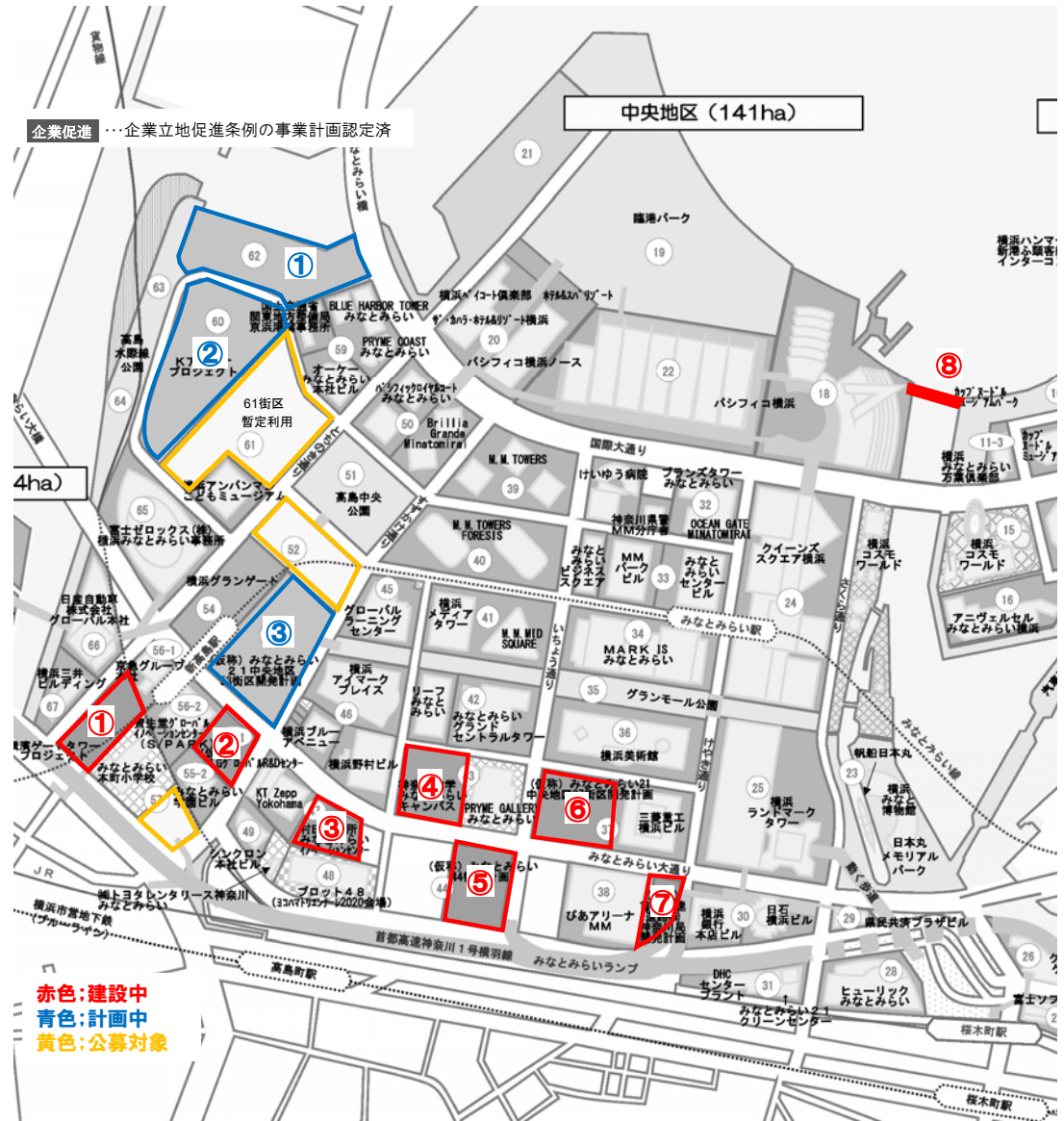
3-(5) 西区における開発動向等について(みなとみらい21地区)

令和2年7月末時点

赤①	58:横濱ゲートタワープロジェクト 事業主体:鹿島建設株式会社、住友生命保険相互会社、三井住友海上火災保険株式会社 規模等/高さ:地上21階、地下1階/約110m 敷地/延床面積:約9,300㎡/約84,000㎡ 施設:オフィス、店舗、プラネタリウム等 竣工:令和3(2021)年度予定	赤⑤	44の一部:(仮称)みなとみらい44街区計画 事業主体:積水ハウス株式会社 企業促進 規模等/高さ:地上23階/約100m 敷地/延床面積:約9,600㎡/約65,800㎡ 施設:ホテル等 竣工:令和4(2022)年2月予定
赤②	55-1:(仮称)LGグローバルR&Dセンター 事業主体:LG Holdings Japan株式会社 規模等/高さ:地上16階、地下2階/約90m 敷地/延床面積:約4,000㎡/約35,900㎡ 施設:研究所、事務所、体験スペース等 竣工:令和3(2021)年11月予定	赤⑥	37の一部:(仮称)みなとみらい21中央地区37街区開発計画 事業主体:合同会社KRF48 規模等/高さ:地上28階、地下1階/約146m 敷地/延床面積:約10,100㎡/約122,000㎡ 施設:オフィス、ホテル、店舗、駐車場 竣工:令和5(2023)年1月予定
赤③	47の一部:村田製作所みなとみらいイノベーションセンター 企業促進 事業主体:株式会社村田製作所 規模等/高さ:地上18階、地下2階/約100m 敷地/延床面積:約7,400㎡/約65,000㎡ 施設:オフィス、研究所等 竣工:令和2(2020)年10月予定	赤⑦	38の一部:(仮称)首都高速道路(株)神奈川局開発計画 神奈川区にある神奈川管理局が移転予定です。神奈川地区の首都高速道路の防災拠点となります。 事業主体:首都高速道路株式会社 規模等/高さ:地上10階/約47m 敷地/延床面積:約2,500㎡/約13,400㎡ 施設:オフィス、駐車場 竣工:令和3(2021)年3月予定
赤④	43:神奈川大学みなとみらいキャンパス 事業主体:学校法人神奈川大学 規模等/高さ:地上22階、地下1階/約100m 敷地/延床面積:約7,800㎡/約50,500㎡ 施設:大学、研究施設等 オープン:令和3(2021)年4月予定	赤⑧	18:女神橋(めがみばし) 事業主体:港湾局 規模等:幅員6m、延長約75m 供用開始:令和2年度予定

青①	62:(名称未定) 事業主体:(代表企業) Berjaya Corporation Berhad (構成企業) 丸紅株式会社、大和ハウス工業株式会社 規模等/高さ:地上14階、地下2階/約60m 敷地/延床面積:約22,200㎡/約82,700㎡ 施設:ホテル、水族館、店舗 竣工:令和8(2026)年3月予定	青③	53(仮称)みなとみらい21中央地区53街区開発計画 事業主体:(仮称)みなとみらい21中央地区53街区開発事業者共同企業体 規模等/高さ:地上30階/約160m 敷地/延床面積:約20,600㎡/約183,000㎡ 施設:オフィス、店舗、にぎわい施設、オープンイノベーションスペース、ホテル等 竣工:令和6(2024)年3月予定
----	--	----	--

青②	60・61の一部:Kアリーナプロジェクト 事業主体:株式会社ケン・コーポレーション 規模等/高さ:地上25階、地下1階/約100m 敷地/延床面積:約31,800㎡/約117,100㎡ 施設:音楽アリーナ(収容人数約2万人)、ホテル、オフィス、展示施設 着工:令和2(2020)年8月予定 竣工:令和5(2023)年10月予定
----	---



3-(6) 西区役所における新型コロナウイルス感染症への対応

西区の特徴として、「みなとみらい地区を中心とした多数のグローバル企業」「横浜駅を中心とした大型商業施設等」「横浜駅西口に夜の街」の存在があります。福祉保健センターでは、区内在住の患者のみならず、区に立地する企業や店舗の従業員の調査も担当しています。

当該感染症の発生直後より様々な事例が発生し、職員が対応に苦慮した経験を踏まえ、次の取組を実施しています。

1 企業・商業施設との連携

「事前の感染予防策の励行」により発生を減らし、「区役所への早めの相談」により早期支援・助言につなげるため、以下の企業・団体等に本市及び厚生労働省のさまざまな施策について情報提供を実施。

また、企業等が窓口となることで、患者・濃厚接触者等の従業員の対応について、円滑な調整が可能になっています。

- (1) みなとみらい地区等に立地するグローバル企業
- (2) 横浜駅東口振興協議会、一般社団法人横浜西口エリアマネジメント

2 夜の街対策

横浜駅西口周辺のバー、スナック、キャバレー等の計 100 店舗に、神奈川県作成の「新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため行っていただきたい取組チェックリスト」を送付し、感染症予防の啓発を行いました。

また、『「接待を伴う飲食店」(神奈川区・西区・中区) 従業員の新型コロナウイルス感染症 PCR 検査』を健康福祉局と協力して実施しています。

【参考 1】対応件数の推移

	4~6月計	7月	8月
患者・濃厚接触者・現地調査等対応件数	42件	70件	84件

【参考 2】区別発生状況（患者住所地）

累計	鶴見区	神奈川区	西区	中区	南区	港南区	保土ヶ谷区	旭区	磯子区	金沢区
	187	108	50	140	110	132	87	124	71	94
	港北区	緑区	青葉区	都筑区	戸塚区	栄区	泉区	瀬谷区	市外	合計
	174	74	190	71	90	32	52	75	106	1967

※本日（8月28日）発表分までを集計